

凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第10号 2023. 6. 16 (金)

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

日本人の美德 敗退後もロッカー清掃、折り鶴と共にありがとうの手紙

通心8号で紹介しました「大谷選手のさりげないゴミ拾い」と同様、世界中で話題となった日本人の美德（人として望ましい心の在り方）を紹介します。

2022年12月、サッカーのカタール・ワールドカップは、決勝トーナメント1回戦で日本がクロアチアにPK戦の末に1-3で敗退しました。史上初の8強はならず失意の結末を迎えました。

その敗退後の話ですが、ゴミ一つなく、ハンガーからティッシュケースまで綺麗に整頓された日本のロッカールームの様子が世界的フォトエージェンシー『Getty Images』に撮影され、世界中で話題になりました。また、中央の台の上には、「ありがとう」、「SAMURAI BLUE JAPAN」などのメッセージとともに折り鶴も置かれており、多くの海外メディアから、日本人の美德だと賞賛されました。『2022.12.06 THE ANSWER 編集部より』

「過密日程の中で疲労をためるスタッフが、仕事の手間を省く選手達の心遣いに感謝の気持ちを抱いた」とも報じられました。日本の選手はそうした礼儀も忘れていなかったようです。また、選手だけでなく、日本人サポーターがあらゆる大会でスタンドを掃除していることも取り上げられ、盛り上がる応援のあとでもマナーを忘れないことに世界中が驚いていました。

勝負の世界、勝ち負けも大切な部分ですが、勝負以上に「人として大切なこと」を教えてください。この記事を見たとき、私は何もしていないのに、自分がしたことのように胸を張ることができました。さあ、中体連に挑むみなさん、それを応援する部員のみなさん、考えさせられるところではないでしょうか。一中の代表として、このような面でも活躍できる生徒であってほしいと思います。頑張れ！、一中生！！みなさんの活躍を心より応援します。

「夢実現・自己実現」コーナー～「無言掃除」で精一杯「心」を磨きましょう～

○ 協調性を養うことができます

時間内に一定の作業をやり終えるためには、仲間との共同作業になります。この過程でみなさんは、気づく心を磨くことができ、協調性や相手を思いやり自分をみつめる機会になります。

○ 働くことの心地よさを知ることができます

家庭では、あまり率先して清掃をしたことがない人もいるかもしれません。清掃活動に金銭的な価値はともないませんが、「働く」ことの達成感と心地よさを体験する場になります。

○ 公共心を育くむことができます

世の中を見ると、老若男女を問わず公衆道徳がやや欠如していると言われることがあります。「公」と「私」を体験を通して考え、身に付けるチャンスでもあります。

◎ 学校を「大切にできる態度」＝一中プライド（誇り）を養うことができます

環境を整えきれいにすることで、学校を愛する心と誇り（プライド）が芽生えてきます。また、『始めと終わりの挨拶』を通して、けじめをつけることの大切さを知ることができます。